

(議長)

次に出崎議員の発言を許可いたします。

出崎議員。

「出崎議員」

2点についてお伺いいたします。

まず1点目。

北の江の島拠点施設整備構想における南埠頭の扱いについて、お伺いいたします。

南埠頭を含めた北の江の島拠点施設の整備が進められようとしています。

南埠頭は、町づくりの観点からも重要な位置にありますが、港湾施設の一翼を担っております。

江差港は檜山沖洋上風力発電事業が開始された時には、メンテナンス港としての役割も期待されています。また、防災上の役割もあります。

将来の江差港のあり方を見据えた上で、南埠頭が縮小することで港機能を損なわないような配慮が必要と考えますが、如何でしょうか。

(議長)

町長。

「町長」

出崎議員からご質問のありました、北の江の島拠点施設整備構想における南埠頭の扱いについてご答弁を申し上げます。

ご承知のとおり、江差港は昭和28年に地方港湾の指定を受け、主に檜山南部の鉱業資源などとして、また近年では渡島半島日本海側南部の大型風力発電機の荷揚げ港など、特に産業活動を支える重要な物流基盤としての役割を担ってきました。

現在の江差港整備については、平成14年3月に策定した江差港長期構想計画に基づいたものとなっております。

計画で示されたゾーニングを大まかに分類しますと、新北ふ頭と北ふ頭を物流ゾーン、中央ふ頭を漁港ゾーン、フェリー、防災ゾーン、南ふ頭を生活、観光ゾーンと整理されています。

北の江の島構想推進にあたっては、こうした江差港長期構想の整備イメージに十分配慮し進めてまいります。

議員からは、江差港が洋上風力発電事業が開始された際にメンテナンス港としての役割を損なわないよう配慮をとのようですが、計画に基づきますと、そういった役割は物流ゾーンとして新北ふ頭、北ふ頭がそれを担うと想定しています。

いずれにいたしましても、構想策定にあたりましては、函館開発建設部や現在利用し

ている皆様などのご意見もしっかり拝聴しながら、北の江の島構想の実現により、生活、観光ゾーンと位置付けられている南ふ頭の利活用を高める事業展開を模索してまいりたいと考えておりますのでご理解願いたいと思います。

(議長)

出崎議員。

「出崎議員」

分かりました。ありがとうございました。

2点目についてお伺いいたします。

サツドラ社の公共交通分野での知見についてですが、包括連携協定を締結し、民間の知見を活用して地域の課題解決を図ることは、新しい試みとしてその成果を評価いたしています。

広報えさし5月号で町長が述べられているように、今後のまちづくりにおいて、車を持たない町民への配慮はかせません。

サツドラ社社長との談話記事によれば、同社は公共交通の部分で知見をお持ちのようですが、分かっている範囲で結構なのですけれども、その内容についてお聞かせ願いたいと思います。

(議長)

はい、町長。

「町長」

出崎議員からの2問目、サツドラホールディングスの公共交通分野での知見についてのご質問にお答え申し上げます。

ご承知のとおり、江差町はサツドラホールディングス株式会社と昨年3月包括連携協定を締結し、この間、情報通信技術を活用した遠隔での健康増進を目指すテスト事業や、経済活動の好循環などを主目的に、地域ポイントカードEZOCA導入事業などに取り組んでまいりました。

サツドラは、高齢化が進む江差の課題解決は近い将来の北海道、あるいは国の課題解決にそのままつなぐと考えると、ここ江差で多方面に渡り実証実験を進めながら、江差モデルを確立し、全道展開につなげたいとしております。

サツドラが交通に関する知見を有するののかとのご質問でございますが、同社自体が全てを担うのではなく、同社が事業の核となり複数の事業体を組み合わせた取り組みを目指すものです。

現時点では、江差町内の交通空白地帯において、情報通信技術を活用しながら、路線

バスとタクシーの性質を併せ持つ交通システムである、デマンドバスを走らせる実証実験ができないかを議論しているところで、そこには江差町はもちろん、デマンド型運行システムを全国で手掛ける複数の企業や、公立はこだて未来大学にも参加していただいております。

いずれにいたしましても、江差町が抱える地域公共交通に係る課題解決の一つにつながる可能性がありますので、実現に向けた協議を続け、具体的に方向性が見えたらあらためまして説明させていただくこととしております。

(議長)

いいですか。

はい、出崎議員。

「出崎議員」

ちょっと再質問ですけれども、サツドラ、ドラックストアの会社だと思うんですが、本来的なところはですね。

なにかこれまでで具体的な取り組みやそんなことをされていたのか、そのあたりはどうでしょうか。

(議長)

はい、まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

サツドラがこれまでそういった事業展開をしてきた経過があるかというご質問だったと思います。

私達が知る限りでは、残念ながら持っていません。

ただ、こういったデマンドをやるにあたって、我々行政だけが、公共だけがやるのではなくて、民間の視点を入れながらやっていくということが非常に大切なんだろうと思っています。

今年の春から、年度前からサツドラの方で、そういうことを是非町と一緒にやってみたいというお話があり、4月以降、数度色んな打ち合わせをしております。

ただ、残念ながらまだこの議会の議場で皆さんにお知らせできるほどまでの煮詰まりになってございません。

皆さんにお知らせしながら、実施方法をお伝えできるようになりましたら、是非またご紹介したいと思いますので、ご理解頂きたいと思います。

以上です。

(議長)

いいですか。

以上で、出崎議員の一般質問を終わります。

(議長)

以上で、今定例会に通告のありました一般質問は全て終了いたしました。

これで一般質問を終結いたします。